

事故報告書

フルーツ・シャトーよいち

施設長	副施設長				係長	担当

フリガナ	●●●●●●	男 <input checked="" type="radio"/> 女 <input type="radio"/>	要介護 3	移動	<input type="checkbox"/> 独歩 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> 杖歩行 <input type="checkbox"/> 車椅子
本人氏名	●●●●●● 様	89 歳			<input type="checkbox"/> その他 ()

報告者	●●●●●●	発生(発見)日時	平成29年03月12日(日) 04:10 分頃
-----	--------	----------	-------------------------

場所	<input type="checkbox"/> 居室 <input type="checkbox"/> ホール <input type="checkbox"/> 浴室 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 拠点707 <input type="checkbox"/> 廊下 <input type="checkbox"/> 階段 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> 送迎車内 <input type="checkbox"/> その他 ()
----	---

状況	<input checked="" type="checkbox"/> 転倒 <input type="checkbox"/> 転落 <input type="checkbox"/> 誤食 <input type="checkbox"/> 誤嚥 <input type="checkbox"/> 誤薬 <input type="checkbox"/> トラブル <input type="checkbox"/> 単独外出 <input type="checkbox"/> 介護中 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他 ()
----	---

夜間、居室より出てこれ、トイレ希望され職員後ろで付き添い誘導する。トイレ入口の段差に引っかかり一度止まった。段差を越えようと再度歩行器を押し進んだところ、タイヤが段差に躓き歩行器ごと前のめりに転倒される。職員が支えようとするが対応が間に合わなかった。その際、頭部を激しく打ち付け額に高さ0.5cm 直径4cmの腫れ、熱感見られた。また痛みも訴えられる。

4時10分 ●●援助係長から 待機●●看護師に転倒の件連絡する。
5時 ●●援助係長から施設長つながらない為、副施設長に電話にて報告する。
8時 施設長から折り返しの電話有り。●●援助主任より報告する。

症状	<input type="checkbox"/> 無傷 <input type="checkbox"/> 表皮剥離 <input type="checkbox"/> 擦過 <input type="checkbox"/> 切傷 <input checked="" type="checkbox"/> 内出血 <input type="checkbox"/> 火傷 <input checked="" type="checkbox"/> 腫れ <input checked="" type="checkbox"/> 変色 <input checked="" type="checkbox"/> 熱感 <input type="checkbox"/> その他 ()	部位	額、脇腹の痛み
症状	4時10分 歩行器ごと転倒された際、グリップ掴んでいた為、頭を床に激しく打ち転倒され、額に高さ0.5cm 直径4cm程大きい腫れ、熱感あり痛みも訴えられる。血圧206と高く、待機連絡し1時間様子見て再度血圧測るよう指示有り。6時30分頃180台と血圧高く経過。7時頃、トイレ希望された際、体を起こす際に嘔気有り、微量嘔吐される。30分後血圧測定し、150台と下降している。		

対応	<input type="checkbox"/> 様子観察 <input checked="" type="checkbox"/> 湿布 <input checked="" type="checkbox"/> 冷却 <input type="checkbox"/> 吐かせる <input type="checkbox"/> 吸引 <input type="checkbox"/> 止血 <input checked="" type="checkbox"/> 受診 <input type="checkbox"/> その他 ()
対応	転倒された際、隣のユニットに協力してもらい二人介助にて車椅子に座って頂く。当初は額の腫れ、熱感、痛みと血圧高めにて経過している。待機看護師より再度血圧測定と湿布対応だったが、6時30分ころから脇腹の痛みと吐き気を訴えられる。7時に待機看護師に連絡する。血圧も180台と高めにて経過。再度測定し、150台と落ち着いている。額の腫れ脇腹の痛みは湿布の対応し様子見ていた。嘔気嘔吐の症状ある為朝食欠食とし様子見る。7時50分頃待機看護師施設到着し状態確認後受診する。

バイタルサイン	体温	36.2 °C	血圧	206 / 60 mmHg	脈拍	96 回/分	SPO2	%	計測時間
---------	----	---------	----	---------------	----	--------	------	---	------

要因・原因	<input type="checkbox"/> 見守り不足 <input checked="" type="checkbox"/> 知識・技術不足 <input type="checkbox"/> ルール不遵守 <input type="checkbox"/> 情報不足 <input checked="" type="checkbox"/> 環境・設備 <input type="checkbox"/> 設備・点検不足 <input type="checkbox"/> 人為的問題 <input type="checkbox"/> その他 ()
-------	--

・トイレの段差に歩行器が躓いてしまったことが原因。
・歩行器を使用しトイレ入り口の段差に引っかかり一度止まり再度乗り越えようとした際に段差に歩行器のタイヤが躓き、そのまま前方へ転倒。対応した職員は後ろから付き添っていた。転倒の際には後ろにいた為体を支えることができず転倒してしまった。
・使用していた歩行器を転倒した場所で使用し、検証する。全体の重量は13.6kgあるが、高さ調整がガス圧式の為前方が重かった。スピードが速ければ4mm程度の段差は問題なくスムーズに乗り越えられた。しかし歩行器に寄りかかるように前に体重を掛け、止まりそうなくらいのかなりゆっくりとしたスピードで進んだ場合は、4mm程度の段差でも引っかかり歩行器の後輪が簡単に持ち上がった。別な歩行器でも同様の方法で検証をした。歩行器の高さ調整はねじ式で全体のサークルの幅65cm、長さ93cmと大きく、安定感があるものを使用した。12.8kgと●●氏が使用していた歩行器よりは軽いが全体重を前側にかけても後輪が持ち上がることはなかった。検証から●●氏のように歩行器に寄りかかるように前方へ体重をかけて使用するには不適切な歩行器を使用していたことが判明した。介護職員は後ろから付き添っていたが前側から付き添う必要があったと考えられた。

事故防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの段差の解消。 ・段差がある場所では職員が本人の前側で付き添う。 ・利用者が安全に段差を乗り越えられるよう誘導する対応を行う。 ・歩行姿勢に合わせた適切な歩行器の選択。
加ファリスの必要性について	<input type="checkbox"/> 不要 <input checked="" type="checkbox"/> 必要

家族への説明	平成29年03月12日(日)	説明方法	<input type="checkbox"/> 面会 <input checked="" type="checkbox"/> 電話	説明職員	●●課長、●●主任
	家族氏名	●●●●●●様、●●●●●●様		続柄	息子夫婦
	5時30分 電話にて転倒の件伝える。「そうですか。また、何か有りましたら連絡ください。よろしくお願ひします」との話し頂く。 8時15分 受診する事、電話にて報告する。				